

令和3年度第2回公立大学法人滋賀県立大学役員会議事録

日時・場所：令和3年6月15日（火）15:30～17:00 評議会室

出席者：廣川理事長、青木副理事長、山根理事、安原理事、高橋理事、
林理事、上原理事、山本監事、元永監事、
徳満工学部長（審議事項1説明）

事務局：八里事務局次長、山田総務課長、高木財務課長、寺村経営企画課長、
武田学生・就職支援課長、郡田教務課長、山中地域連携・研究支援課長、
塚本参事、杉田課長補佐、藤居主幹

令和3年度第1回公立大学法人滋賀県立大学役員会議事録（案）は、一部修正のうえ承認された。

議 題

（審議事項）

1 学科名の変更に係る文部科学省への事前相談について

徳満工学部長から、資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

〔主な意見・質疑等〕

- ・学科名は、学習内容を反映したものにするべきである。
- ・「材料工学」など受験生にとってわかりやすい名称にした方がよいのではないか。
- ・受験生が的確に本学の情報に辿り着けるようにすることも重要である。
→「材料化学」は学習内容を反映し、受験生に検索してもらいやすい名称と考えている。

2 令和2事業年度における業務の実績に関する報告書（案）について

寺村経営企画課長から、資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

〔主な意見・質疑等〕

- ・学内意見の中でTeamsに関連する言及があるが、このことについて説明いただきたい。
→大学の通信環境が脆弱であったことなどから、令和2年度前期はオンデマンドでの遠隔授業を行ったが、ライブでは行えなかった。学内意見は、そのような昨年度の状況について言及したもの。その後、通信環境の改善や研修等を実施して、Teamsの機能を広範囲に利用できるようになってきている。

3 令和2年度決算および事業報告（案）について

高木財務課長から、資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

〔主な意見・質疑等〕

- ・公立大学法人平均と比較して、学生当たり教育経費が少ないのではないか。また、流動比率が低いのではないか。
→他学との会計基準の違いも含めて、今後要因等を究明していきたい。

(報告事項)

- 1 **新型コロナウイルス感染拡大予防にかかる対応について**
青木副理事長から、資料に基づき報告があった。

- 2 **外部資金等の獲得状況について**
山中地域連携・研究支援課長から、資料に基づき報告があった。

- 3 **令和2年度卒業・修了者の進路状況等について**
武田学生・就職支援課長から、資料に基づき報告があった。